



★ねぎしフードサービスさんが毎月2回、100キロのお肉を提供してくださいます！

少子政策課の石井です。

狭山市に工場がある(株)ねぎしフードサービスさんが、毎月定期的に、子ども食堂やフードパントリー活動団体にお肉を御提供いただけることになりましたのでご報告いたします！

昨年12月に試行的に実施し1月からは本格稼働に。なんと、毎月100キロ前後の豚肉や牛肉をご提供いただけるとのこと。

冷凍のお肉なので、輸送面での課題もありましたが、狭山市内の運送会社弁天さんや、アルファクラブさんがに支援いただき、自社の冷凍車で運んでくださることに。

頂いたお肉は、川越市内の最明寺、本応寺で開催された川越こども応援パントリーで食の支援を必要としている子育て家庭の皆さんに配布。

同パントリーの時野さんによると、同パントリーではお肉の配布が初めてだったので、利用者さんは、驚きと共に、「こんなにいいお肉をもらっちゃっていいんですか?」「みんなお肉が大好きだから嬉しい」など大変喜ばれていらっしまったそうです。

ちなみに、同社の笠井さんによると、狭山工場で「お肉を定期的に子供の居場所団体等に提供する取組を始めます」と社員の皆さんにお伝えしたところ、皆さんが非常に関心を示してくださったとのこと。同社の社内報でも、「こども食堂・フードパントリーを通して、ねぎしにできる社会貢献」と題し、フードパントリーや子ども食堂などの活動内容も含め、今回の取組について紹介していただきました！

ねぎしフードサービスの皆さん、この度はこのような素晴らしい取組を始めてください、本当にありがとうございます。引き続きどうぞよろしく願いいたします！

※社内報が本当に素晴らしいので、同社の許可を得て、記事に添付します

※同社に「子ども食堂やフードパントリーに対して、こういう支援の方法があるよ!」とご紹介くださったのが、すでに毎月フードパントリーに食材を提供してくださっている(株)クリタエイムデリカの栗田社長。栗田社長は、同社だけでなく、たくさんの企業に、食材支援の取組を紹介してくださっています。この場を借りて御礼申し上げます！

